

令和2年度 瀬谷高等学校 不祥事ゼロプログラム

神奈川県立瀬谷高等学校

神奈川県立瀬谷高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

瀬谷高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭がこれを補佐する。

2 目標及び行動計画（◎は今年度重点目標）

課題 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止）

目標 職員一人ひとりの「職務への誇りと責任」の自覚を促し、公務外非行の根絶につなげる。

- 行動 ①具体的な事例に基づいた校内研修を行い、遵守すべき服務規律やルールを徹底する。
②管理職は個々の職員の状況を把握し、適切な業務遂行を支援する。

課題 職場のハラスメントの防止

◎目標 人権感覚と規範意識を向上させ、さまざまな情報共有に努め、職員間の協働意識を高める。

- 行動 ①掲示や発信等、様々なツールを用いて職員間の情報共有に努める。
②管理職は打合せ、会議、面談等で個々の職員の業務分担や進捗状況把握に努め、安心安全な職場づくりを推進する。

課題 児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止

目標 職員一人ひとりが生徒の人権擁護意識を高め、当事者意識を持って取り組み、生徒へのわいせつ・セクハラ事案を根絶する。

- 行動 ①生徒指導、部活動等は必ず複数の職員で対応する。
②管理職は日常の校内巡視により、授業や部活動の様子、校内環境を把握し、問題の未然解決に努める。
③指導の在り方や生徒の個人情報取り扱いなどについて、ルールを繰り返し周知し、具体的事例に基づく研修を行う。

課題 体罰・不適切指導の防止

目標 職員一人ひとりが日頃より指導の目的を意識し、適切な方法で落ち着いて生徒に向き合えるよう取り組み、体罰・不適切指導を根絶する。

- 行動 ①生徒指導、部活動等は必ず複数の職員で対応する。
②職員は個々の生徒の状況を把握し、丁寧に生徒に向き合うことを心がける。
③支援的な関わりについて学び、理解を深め実践につなげる研修を実施する。

課題 入学者選抜及、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

目標 職員一人ひとりが重要情報の作成及び取扱いに関わることを自覚し、ルール周知や環境整備を進め、事故の根絶に努める。

- 行動 ①マニュアルを作成し、全職員が取扱いルールや注意事項を周知、共有する。
②業務執行と点検の体制を確立し、細心の注意を払う。

③作業時の環境整備に努め、保管、格納を確実にし、紛失や漏洩を防ぐ。

課題 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

目標 生徒の個人情報の適切な管理・取り扱いを徹底し、情報の紛失や漏洩を防止する。

- 行動** ①個人情報等取扱いのルールを周知する。とくにオンラインシステムの利用による個人情報の取扱いについては管理職ともよく相談し、学校として慎重に進めていく。
②個人情報等校外持ち出し許可願等の活用及びUSBメモリーの管理を徹底する。

課題 会計事務等の適正執行

目標 私費会計基準に準拠した私費会計の適正執行に努める。

- 行動** ①会計業務に係る基本ルールのマニュアルを作成し、研修を実施する。
②伝票の確認や監査業務の実施、備品の適正な管理を行い、会計の適正執行に努める。

3 検証

(1) 中間検証

2に規定する行動計画について、令和元年10月から11月にかけて達成状況を確認する。達成度が低い場合には対応策を検討し、達成度が上がるよう再度行動計画を設定しなおす。

(2) 最終検証

年度末の3月に令和2年度の実施状況を確認し、最終検証、全体評価を行う。それらを踏まえて令和2年度不祥事ゼロプログラムを策定する。

4 実施結果

3(2)の検証を踏まえ「実施結果」を取りまとめるうえ、ホームページに掲載する。

5 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、事故防止会議においてこれをおこなう。